



平成29年度

主な事業

～ともにつくる 一人ひとりが主役の ひと～

2・3ページでお伝えした平成29年度施政方針に基づき、本年度も多くの事業が実施されます。その中でも特に重要課題として取り組んでいく事業を抜粋して紹介します。

※赤字は新規事業。

※1万円未満の金額は、四捨五入しています。

生活
基盤

安全で快適に暮らす

ひと

- 都市計画道路 徳瀬友田線改築事業／600万円
自転車・歩行者の安全性を確保するため、徳瀬友田線新治工区（光岡橋～国道386号間）の改築工事に向けた測量調査と予備設計を行う。
- 日田市公共交通網形成計画策定事業／1,118万円
効率的で利便性の高い公共交通網を構築するため、公共交通機関の利用実態を調査し、課題の分析等を行い計画を策定する。
- 公共交通対策／1億3,987万円
市民の交通手段を確保するため、バス会社への支援をはじめ、コミュニティバスやデマンドバス、乗合タクシーの運行等を行う。
- 駅前広場整備事業／2億円
完成から30年以上経過した日田の玄関口であるJR日田駅前広場のリニューアル整備を行う。

市民
協働

きずなを強める

ひと

- 新しい公共推進事業／435万円
安心して暮らせる地域をつくるため、地域のまちづくり活動や行政の事務の部分的な受託などを行う住民自治組織の設立に向けた取組を進める。
- 地域おこし活動推進事業・集落活動推進事業／1億79万円
外部の視点を生かした地域の活性化や地域経済の担い手の確保を図るため、地域おこし協力隊の受け入れ、また、地域の課題や実情を把握し、集落機能の維持等を行うため、集落支援員を配置する。
- 移住支援関連事業（定住交流促進事業ほか）／3,432万円
移住者の増加に向け、移住相談会への参加、Uターン者等への移住奨励金の交付や空き家情報の収集と発信、お試し体験の宿泊等の支援をする。
- コンビニ交付サービス事業／2,775万円
全国のコンビニエンスストア等で各種証明書を取得できるよう、システム等を整備する。

教育・
文化

学ぶ楽しさを増やす

ひと

- 中学生学びアップ事業／747万円
中学生の学力向上を図るため、毎週水曜日及び第2、第4土曜日に、希望者を対象に数学、英語の教室を開催する。
- 小・中学校確かな学力育成支援事業／5,258万円
小・中学校の児童・生徒の学力向上を図るため、漢字や英語検定の助成や市独自の学力調査の実施、学力定着補助教材の公費負担等を行う。
- A O S E（アオーゼ）開館1周年記念事業／1,054万円
複合文化施設A O S Eの開館1周年記念事業として、「バーナード・リーチと小鹿田焼展」を開催する。
- 鯛生スポーツセンター施設整備事業／3億2,302万円
利用者の利便性及び快適性を確保することで、スポーツ等の合宿の受入れ体制の充実、また、利用者の増加を図るため、施設の改修を行う。

福祉

住む安心を高める

ひと

- 保育士就職応援事業／500万円
市内の認定こども園等に就職し、正規の教育・保育従事者として、一定の要件を満たした者に対し就職応援金を支給する。
- 病児保育事業／4,478万円
病気の回復期に至らない子どもを、一時的に保育する病児保育室を新たに整備する法人に対し、建設等に係る費用を助成、また、病児等に対し看護師等による保育を提供する。
- 子どもインフルエンザ予防接種助成事業／1,056万円
インフルエンザの感染予防や子育て世帯の負担軽減のため、子どものインフルエンザ予防接種料金の一部を助成する。
- 介護職員人材確保推進事業／550万円
介護職員の人材を確保するため、介護職員初任者研修及び介護福祉士実務者研修受講者に対し、受講費用の一部を助成する。

環境

水と緑を宝にする

ひと

- 高瀬川分水路整備事業／1億6,860万円
高瀬川の河川環境改善を図るため、高瀬川ダム上流部で取水した水をダム下流へ放流する分水路を整備する。
- 浄化槽設置補助事業／5,890万円
快適な生活環境の整備及び河川水質の保全を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し設置費の一部を補助する。
- 焼却施設等更新事業／1,087万円
老朽化した日田市清掃センターの施設更新を進めるため、建設候補地の選定を行う。
- 3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進事業／518万円
ごみ減量化、再利用及び再生利用について積極的に啓発を行うとともに、資源回収団体へ奨励金を交付する。

産業
振興

やりがいと魅力をつくる

ひと

- 農産物ブランド推進事業／556万円
販売促進キャンペーンの開催や情報誌を活用したPR、百貨店等の担当者に対する産地視察会等を実施する。
- 木づかい促進事業／4,850万円
日田材の需要拡大のため、住宅の新築・リフォームに対して木材の支給又は家具交換ポイントを付与するもの。また、多世代同居やU・Iターンの加算により、子育て支援や定住促進との連携を図る。
- 中小企業チャレンジサポート事業／500万円
中小企業の経営革新を図るため、産学官連携による商品・技術・サービスの研究開発や製造業を営む小規模事業者が行う商品開発等に必要機械装置等の購入費用を助成する。
- 日田祇園ユネスコ無形文化遺産登録記念事業／1,071万円
ユネスコ無形文化遺産に登録された「日田祇園の曳山行事」を広くPRし、観光誘客を促進するため、九州地域で登録された他の4行事と連携し、登録記念行事を行う。